

「平成23年度地域福祉推進フォーラム」のご案内

趣旨 「福祉のまちづくり」とおして、災害時にも生命を守り、暮らしをささえるための力とするために、あらゆる関係者が力を結集し、地域福祉活動の推進を図ることを目的に開催します。

主催 熊本県
熊本県社会福祉協議会

日時 2012年1月20日(金)
10:30～15:30

会場 熊本テルサ1階
テルサホール

定員 500人 **参加費** 無料

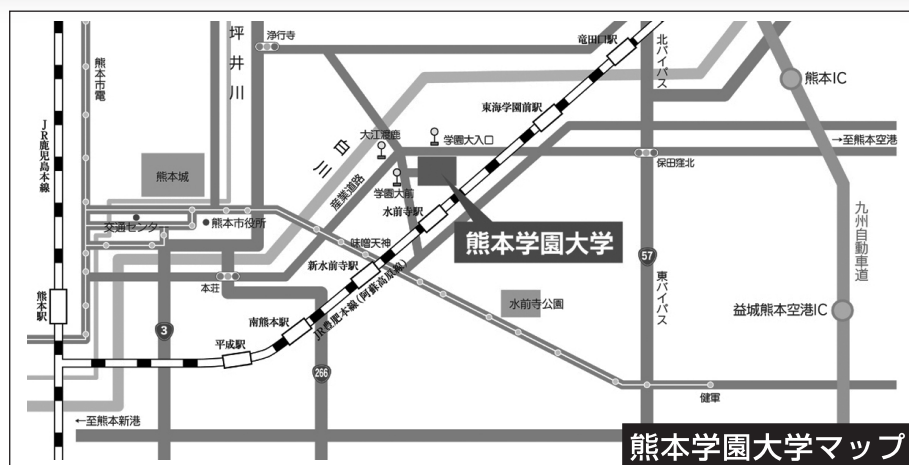
申し込み 熊本県市町村社会福祉協議会事務局 担当：斎場までご連絡ください。
TEL:096-324-5470 FAX:096-355-5440

内容 「東日本大震災から考える
『つながりの再生』」

基調講演 宮城県名取市箱塚桜仮設住宅自治会長 大脇兵七氏

シンポジウム 「いつも、どこでも、
誰もが支え合う地域を目指して」

- 名取市箱塚桜仮設住宅自治会（宮城県）
- グループホームこんまいあんき（愛媛県松山市）
- 山都町下矢部西部地区社会福祉協議会（熊本県／旧矢部町下矢部西部小学校）
- 天草市社会福祉協議会（熊本県）



お申込の手順

参加申込書に必要事項をご記入のうえ、事務局宛にFAXまたは郵送でお送りください。折り返し、参加票兼請求書をFAXまたは郵送にてお送りいたします。※昼食は各自でご用意ください。なお、会場内での飲食はできませんので、あらかじめご了承ください。

お申し込み・お問い合わせ

全国コミュニティライフサポートセンター（CLC中日本）／担当：島田・佐藤
〒465-0093 愛知県名古屋市中東区一社1-121-105 TEL:052-700-3239

FAX 052-702-7587

第2回「廃校や余裕教室を活用した地域コミュニティづくり全国サミット」参加申込書 全国コミュニティライフサポートセンター（CLC中日本）宛

申込責任者				団体名			
所在地	〒			(自宅・職場)		TEL	
						FAX	
お名前		役職		お名前		役職	
①				③			
②				④			

第2回

廃校や余裕教室を活用した地域コミュニティづくり全国サミット

このサミットは、廃校を地域の新たな資源として、地域づくりに活かす取り組みに焦点をあて、昨年、高知県で第1回目を開催しました。

少子高齢化などを背景に、学校の統廃合や閉校が進み廃校が増加しています。閉校と同時に、活気を失い、地域が寂れていく象徴のように捉えられる廃校ですが、一方で、その立地や人が集まる場所であった特徴を活かした廃校利用の取り組みも増えています。

もともと学校は、地域コミュニティの核として機能し、人の交流や地域活力の源となってきました。東日本大震災では多くの学校が避難所となるなど、災害時や防災の拠点としての役割も期待されています。

廃校になっても、地域の拠点として人づくり、地域づくりの源であり続けるためには、何が必要か。このサミットでは廃校利用の可能性を探るとともに、余裕教室の活用など学校と地域との協働や連携の活動についても併せて考え合います。

日時 2012年1月21日(土) 10:00～16:05

会場 熊本学園大学14号館 / 高橋守雄記念ホール
(熊本市大江2丁目5番1号)

対象者 廃校(園)活用の実践者とその地域の住民、
学校と地域が協働活動を行う地域の学校や住民、
その他地域の自治会・町内会、住民活動実践者、
行政・社協役職員のほか、関心のある方

定員 200人(先着順) **参加費** 3,000円

主催 第2回「廃校や余裕教室を活用した地域コミュニティづくり全国サミット」実行委員会
日本福祉大学／全国コミュニティライフサポートセンター

後援(予定) 熊本県／熊本県教育委員会／熊本県市長会／熊本県町村会
熊本県社会福祉協議会／小地域福祉活動を楽しむ全国ネットワーク

プログラム

9:30～10:00	受 付
10:00～10:10	開 会 主催者挨拶 「第2回廃校や余裕教室を活用した地域コミュニティづくり全国サミット」実行委員会 実行委員長 熊本学園大学社会福祉学部 教 授 和 田 要
10:10～10:50	基調講演 学校から始まる地域再生 ー学校・廃校の可能性を探るー 文部科学省大臣官房文教施設企画部施設助成課 課長補佐 杉 浦 健太郎
10:50～11:15	実践報告 1 きくちふるさと水源交流館（熊本県菊池市／旧菊池市立菊池東中学校） 特定非営利活動法人 きらり水源村 事務局長 宮 原 美佐子
11:15～11:40	実践報告 2 星ふる学校「くまの木」（栃木県塩谷町／旧塩谷町立熊ノ木小学校） 特定非営利活動法人 塩谷町旧熊ノ木小学校管理組合 事務局長 加 納 麻紀子
11:40～12:30	昼食休憩
12:30～13:00	実践報告 3 きらりよしじまネットワーク（山形県川西町／川西町立吉島小学校） 事務局長 高 橋 由 和
13:00～13:30	実践報告 4 社会福祉法人 御陽会 第二明星学園（熊本県御船町／旧御船町立田代西部小学校） 施設長 山 崎 雅 之
13:30～14:00	実践報告 5 吹上町旧野首小学校（鹿児島県日置市／旧吹上町立野首小学校） 日置市総務企画部 地域づくり課 参事 有 村 弘 貴
14:10～14:15	休 憩
14:15～14:35	熊本県の取り組み ー廃校を活用した地域の居場所づくりー 熊本県健康福祉部 健康福祉課 地域のまちづくり室 室長 新 谷 良 徳
14:35～16:00	ディスカッション 廃校こそが地域をつなぐ ●パネリスト 特定非営利活動法人 きらりよしじまネットワーク 事務局長 高 橋 由 和 特定非営利活動法人 塩谷町旧熊ノ木小学校管理組合 事務局長 加 納 麻紀子 特定非営利活動法人 きらり水源村 事務局長 宮 原 美佐子 社会福祉法人 御陽会 第二明星学園 施設長 山 崎 雅 之 日置市総務企画部 地域づくり課 参事 有 村 弘 貴 ●サポーター 熊本県球磨地域振興局保健福祉環境部 副部長 小 田 勝 範 文部科学省大臣官房文教施設企画部施設助成課 課長補佐 杉 浦 健太郎 ●コーディネーター 熊本学園大学社会福祉学部 教 授 和 田 要
16:00～16:05	閉 会

活 動 紹 介

実践報告 1	実践報告 2	実践報告 3
きくちふるさと水源交流館 （熊本県菊池市） きくちふるさと水源交流館は、2000年3月に廃校となった、菊池東中学校の跡地を活用したまちづくりとグリーンツーリズムの拠点施設です。地域の心のよりどころでもあった思い出深いこの校舎を何とか保存し、地域の活性化のため有効活用しようと住民が中心になり協議を重ね、2003年から子どもと農業体験の活動を中心にすえ、活動しています。 地域外に対しては、グリーンツーリズムの拠点施設として、また、地域内に対しては、地域の食や人との交流を通じた地域文化・伝統の継承の場として、地域の方々の生きがいや社会との関わり場として活用しています。	星ふる学校「くまの木」 （栃木県塩谷町） 塩谷町旧熊ノ木小学校は1999年3月31日をもって廃校となりました。 廃校になることが決まったとき、この懐かしい木造校舎をいつまでも残したい、再び地域のシンボルとして復活させたい、という願いが地元で起こりました。地元の方々が中心になり、熱心な検討が続けられた結果、2002年4月に旧熊ノ木小学校は宿泊できる体験学習の拠点施設、星ふる学校「くまの木」として生まれ変わりました。地域のひとととの心をつなぐ絆づくりを推進し、暮らしやすい地域社会を実現することを目的に、活動しています。	きらりよしじまネットワーク （山形県川西町） きらりよしじまネットワークは、2007年に設立された、地域の全世帯が加入する特定非営利活動法人です。自治会・町内会をはじめとする従来地域にあった各種団体の役割や資源配分を見直し、地域が一つにまとまって地域づくりに取り組むことを目的に設立されました。 基本目標を「美しい吉島を未来の子どもたちへつなぐために」と掲げ、地域の幼稚園や小学校、中学校などと連携しながら、わんぱくキッズスクールや児童クラブきらり、自主防災組織事業など、多種多様な活動に取り組むと同時に、人材育成にも取り組み、若い世代が中心になって活動しています。
実践報告 4	実践報告 5	
第二明星学園 （熊本県御船町） 2005年3月に廃校になった御船町立田代西部小学校跡地を改修し福祉拠点として活用しています。 障がいを持った方たちが自立を目指し、過疎化が進む地域の中で、自然に囲まれたケアホーム「こもれび」にて共同生活を送りながら、日中活動支援の就労継続支援B型パン工房「森のめぐみ」にて食パンや菓子パン、クッキー、ブレンドコーヒーの製造販売を行っています。 また、さまざまな人が集う地域交流スペース「おいで」を活用した、多機能事業所として、知的障がいを持った方々の福祉サービスの充実と地域福祉の拠点を目指しています。	吹上町旧野首小学校 （鹿児島県日置市） 廃校を個人が活用している、全国的にも珍しい事例です。1985年に廃校になった旧野首小学校を、洋画家の佳月優さんがアトリエ兼ギャラリーとして活用。主に鹿児島市内からの生徒を対象とした絵画教室のほかに、地域の小学校の課外授業や育成会活動も行っています。 また、同じくアトリエを構える情熱家の博多和宏さんが、2008年にイベント「体育館で芸術」を開催。2009年からは、地域を盛り上げることにより、表現者自身が地域から必要とされる存在になり、地域とともに自分たちも潤っていくことを目的に、「FUKIAGE WANDER MAP」と題して、地域を巻き込んだ芸術祭を実施しています。 「FUKIAGE WANDER MAP 2011」は吹上の「人」の魅力を紹介する芸術祭の公式ガイドマップです。→ 